

本日はご参加ありがとうございます。
きょうは揚琴の調律を純正律にしてみました。
どんな調律法も僅かな音の濁り、うなりを生じます。
うなりは程よいゆらぎになれば心を和らげますが、
度を過ぎると心を波立たせます。
純正律は、まったくうなりのない響きと
やや不自然なうなりが混在している調律です。
揚琴では純正律を保つことには限界がありますが、
それゆえに程よいゆらぎが生まれます。
揚琴の演奏では純正律の澄んだ響きとゆらぎを、
笛の演奏では「間」を大切に演奏したいと思います。

友枝 良平

